



わたしたちも高校がどうなるのに興味があります。高校再編ってなあに（堀内児童館）

し、新たな総合学科高校を設置します。現在、三高校の関係者で整備検討委員会をつくり新高校の教育内容や校名など検討しています。

統合する平成十六年度は新高校の生徒のみ募集、旧高校は生徒募集を停止しますが、平成十四年、十五年度は三校それぞれ生徒募集し、試験を今まで通り行います。平成十六年度は、新校の一年生と旧高校の二年、三年が共存しますが、新校の設置場所が現久慈農林のある場所を活用することから、新高校一年生と久慈農林二年、三年生は現久慈農林の校舎で、久慈商業、久慈水産の二年、三年生はそれぞれ今の校舎で卒業するまで勉強します。

平成十四年度に入学する生徒は、統合する平成十六年度には三年生になりませんが、統合前の高校で卒業するかどうかについては、入学した学校で卒業するのが基本と考えています。しかし、検討委員会で、教育的な見地から統合時に

新高校に移籍させることが望ましいとの結論になった場合、その判断を尊重します。

校名変更は、平成十四年度入学者に入学者選抜実施要綱などで説明し、校名や在校生の扱いについて早急に検討するよう整備委員会を指導し、本年十月に開催される入試説明会で明示します。

普代村はユニークで、歴史的に面白い。関東の中学校では、普代村に興味を持っていてるので、修学旅行の受け入れに力を。

：A

修学旅行受け入れの情報発信は、実施しています。普代村の「鉄山染」や「鮭の一本釣り」など掲載したパンフレットを作成、ホームページを開設しても

います。

今後とも、受け入れ態勢の充実や首都圏などへの情報発信に努め、本県への修学旅行の積極的な受け入れに努力します。合唱など、リハールができてよくなホールを持った宿泊施設を。

：C

要望のような「合唱などのリハールができるようなホール」は、残念ながら専用の施設・設備で概ね対応できるものと考えています。

その他

風力発電で電気の自給率を高め、観光牧場に設置すれば新たな観光スポットにもなるのでは。

：B

提言のあった風力発電について幾つかの要件を満たす必要があります。広域圏での概査では普代村に適地はありませんでしたが、普代村が平成十二年度に策定した「新エネルギービジョン」で、風力発電事業の風の精査が必要としていますので、村と連携を図りながら検討していきます。

また、提言にありました「観光スポットになる」は、風車が観光資源として活用されている例もあり、効果もあると考えます。

ITの時代であり、インターネットを使った会議を。

：C

昨年十二月に県庁と各地方振興局との間にテレビ会議システム

を整備しました。最寄りの地方振興局で会議を開催できる体制になっています。

今後も最新の情報通信技術を活用し、地域の情報化を進めます。

宮古地方振興局では購入閲覧日と見積書提出期限を同一日に行っている。久慈地方振興局も同じ方式を。

：C

同一日とすることは、残念ながら実現困難です。見積書提出は郵送でも受け付けます。検討願います。

地方振興局定例見積もりを、ネット調達に。

：B

県では、二〇〇五年度を目途に進めることにしています。

増え続ける交通死 地域で抑止対策を!

八月十六日、久慈警察署から及川正文署長らが役場を訪れ、「本県の人身事故が増加し続けています。各市町村との連携で抑止していきたい」と深渡宏村長に県警本部長（出原健三部長）名の書簡を手渡しました（写真）。

深渡村長は、「村民一人ひとりの交通安全意識が交通事故をなくすることにつながっていきます」と交通安全教育の重要性を新めて確認していました。



今後さらに心を引き締め、交通安全に努めていきましょう。